
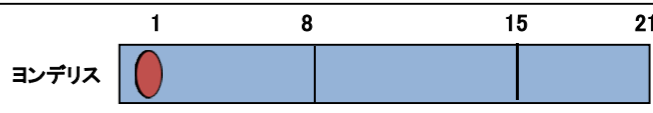


ID: 患者氏名: 様

日付	月 日()	月 日() ~ 月 日()	月 日()
経過	入院当日(治療開始前)	入院当日(治療開始後) ~ 治療終了後	治療終了後~退院日
	入院時		退院時
達成目標	治療の経過がわかる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定どおりに治療が終了する。 ・ 副作用出現時は適切に対処が受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副作用への対処法を理解し実行できる。 ・ 退院指導の内容が分かる。
検査	次の検査を行うことがあります。 血液検査、心電図、胸部エックス線撮影	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的に血液検査を行います。 	
治療・処置	身長、体重を測定します。 	<p>抗がん剤の投与スケジュールに関しましては、病棟薬剤師より説明があります。</p> <p>☆ヨンデリスは、24時間かけてCVポートから投与されます。</p> <p>【投与から1~2日後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 投与時過敏症状 → 薬剤投与中あるいは投与数時間後にかゆみ、息苦しさ、発熱、汗が出るなどの症状が出た場合は、すぐに教えて下さい ・ 便秘 → 下剤の内服、グリセリン浣腸 ・ 吐き気・嘔吐・食欲不振などの消化器症状 → 吐き気止めの内服または注射 <p>【投与から数日間経過してから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 口内炎 → うがいや抗炎症薬の軟膏を塗布 ・ 肝機能異常 → 肝臓を保護する薬を内服または注射 ・ 横紋筋融解症 → 全身の筋肉痛、尿の黒色化。重篤な場合は、腎機能障害。 <p>【投与から1週間経過してから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貧血 → 輸血(頻度は稀です) ・ 血小板減少 → 血小板輸血(頻度は稀です) ・ 白血球・好中球の減少 → G-CSF製剤(白血球を増やす薬)を注射 ・ 脱毛 → ウィッグやバンダナ、帽子などを使用 ・ 味覚の変化 → 味付けの工夫、うがいの励行 	
説明・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入院生活について説明します。 ・ 予測される副作用および予防法 ・ 出現時の対処方法について病棟薬剤師より説明があります。 	点滴中、針の入っているところが痛くなったり、腫れたり、重苦しくなったら、すぐに教えて下さい。こまめに水分補給をしてください。	退院指導を行います(生活指導や次回外来再診日の連絡)
内服・点滴	現在飲んでいる内服薬の確認をします。 内服薬は基本的に継続とします。 	2日目~ メクロプラミド (吐き気止め)を飲みます。 特に吐き気が強い場合は、2~4日目に デカドロン8mg (吐き気止め)を飲みます。 3~9日目は グリチロン (肝臓機能を改善させる薬)を飲みます。 現在飲んでいる内服薬は基本的に継続とします。	症状に応じて内服薬が処方されることがあります。(吐き気止めや下剤など) 
食事	基礎疾患(糖尿病・高血圧など)に応じて、治療食が出ます。	食事の制限は特にありません。たくさん水分を取るように心掛けて下さい。吐き気のために食べられないときには、食事の変更ができますので相談ください。症状にあわせて食事内容を変更することができます。 	
生活・行動	特に行動制限はありません。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 白血球が減少すると感染に対する抵抗力が弱くなるため、人混みは避け、うがい、手洗いをしっかりと行い感染予防を行ってください。 ・ 血液データに応じて食事や行動の制限を行うことがあります。
清潔	シャワー浴ができます。(抗がん剤投与中、白血球が著しく低下している期間は、清拭のみとなる場合があります。)		
その他	熱が出た場合や血液検査などの検査結果に異常がある場合は、化学療法を延期することがあります。	他に気になる症状がありましたら、申し出てください。	ヨンデリス 

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。